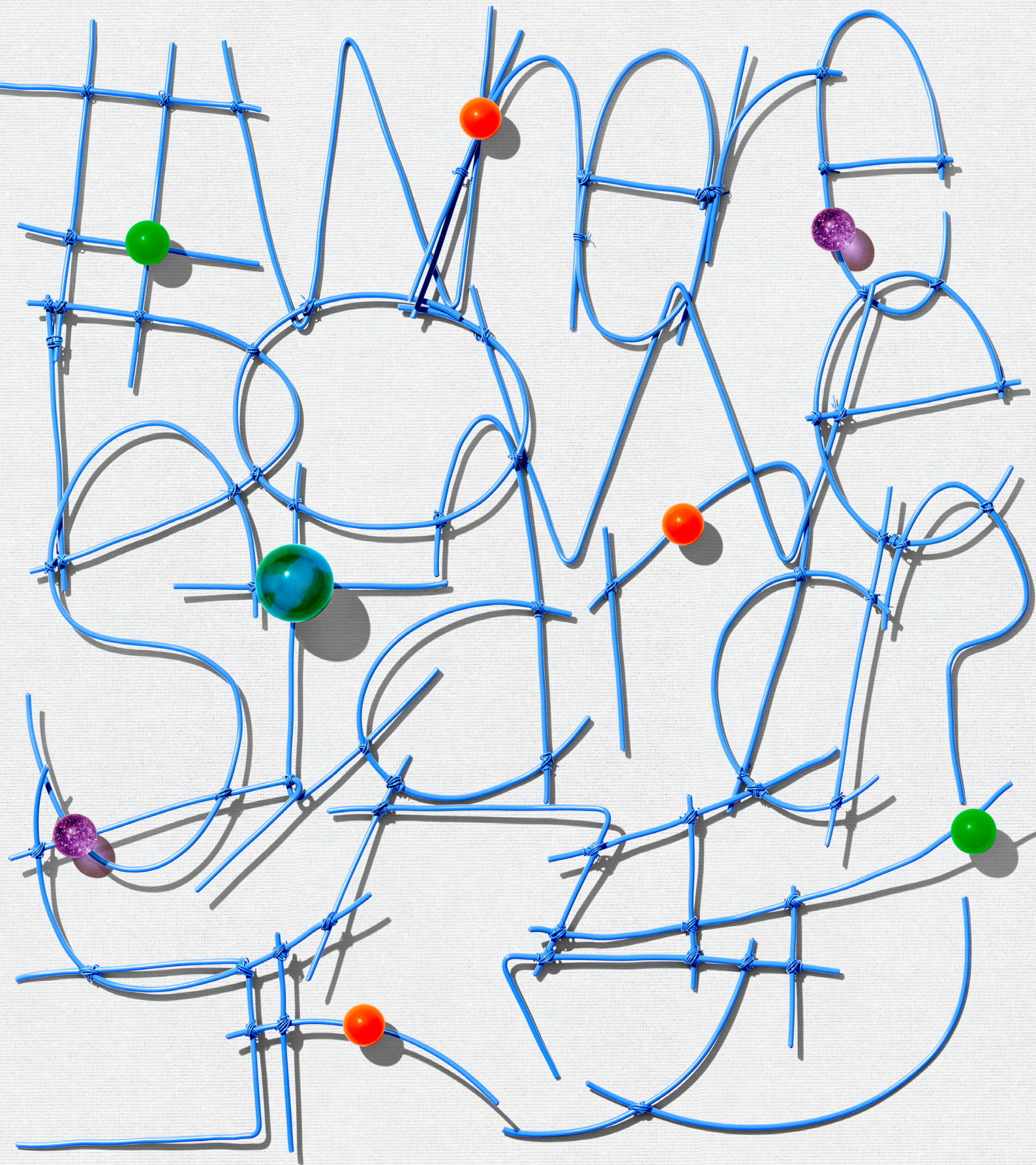




2025年12月20日(土)–2026年3月8日(日)

京都国立近代美術館(岡崎公園内)

Sat., December 20, 2025–Sun., March 8, 2026

The National Museum of Modern Art, Kyoto

[開館時間] 10:00–18:00 (金曜日は20:00まで開館、入館は閉館の30分前まで)

[休館日] 月曜日(ただし、1月12日(月・祝)、2月23日(月・祝)は開館)、

12月30日(火)–1月3日(土)、1月13日(火)、2月24日(火)

[主催] 京都国立近代美術館、メルコグループ

[Hours] 10:00–18:00 (Fridays: 10:00–20:00, Admission until 30 minutes before closing)

[Closed] Mondays (Exception: January 12, February 23),

New Year's holidays (December 30–January 3), January 13, February 24

[Organizer] The National Museum of Modern Art, Kyoto, Melco Group

#WhereDoWeStand?—Art in Our Time

セカイノコトワリ—私たちの時代の美術

#WhereDoWeStand?—Art in Our Time

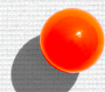
セカイノコトワリ—私たちの時代の美術



1



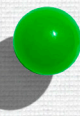
2



3



4



本展では1990年代から現在までの美術表現を中心に、20名の国内作家による作品を紹介します。世界と人間との関係をめぐるアーティストたちの考察や実践を、「アイデンティティ」「身体」「歴史」「グローバル化社会」といったキーワードを手がかりに読み解き、展覧会での鑑賞者の作品体験が、あたかも航海上の潮流やうねり、未知の島との遭遇などを記録した「海図」のような物語として描き出されることを試みます。

本展のタイトル「セカイノコトワリ」には、外来語や新しい概念をカタカナで表記するように、未知のものに対して安易な解釈や意味づけを保留しつつ自らの思考を更新していく態度という意味が込められています。「私たちの現在地はどこ? / Where Do We Stand?」という問いに対する答えは無数にあり、海に浮かぶ小舟のように常に揺れ動いているとも言えます。それでも、他者と共有可能な拠りどころを探しながら生きていくために、本展が鑑賞者それぞれのセカイノコトワリを見つける機会となれば幸いです。

青山悟、石原友明、AKI INOMATA、小谷元彦、笠原恵美子、風間サチコ、西條茜、志村信裕、高嶺格、竹村京、田中功起、手塚愛子、原田裕規、藤本由紀夫、古橋悠二、松井智恵、宮島達男、毛利窓子、森村泰昌、やなぎみわ

Satoru Aoyama, Yukio Fujimoto, Teiji Furuhashi, Yuki Harada, AKI INOMATA, Tomoaki Ishihara, Emiko Kasahara, Sachiko Kazama, Chie Matsui, Tatsuo Miyajima, Yuko Mohri, Yasumasa Morimura, Motohiko Odani, Akane Saijo, Nobuhiro Shimura, Tadasu Takamine, Kei Takemura, Koki Tanaka, Aiko Tezuka, Miwa Yanagi



5



7

感覚をひらくワークショップ
「見える人と見えない人のおしゃべり鑑賞会」(仮称)

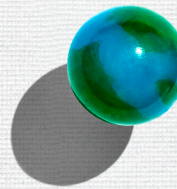
【日時】2026年2月8日(日) 時間未定
【会場】京都国立近代美術館
【対象】どなたでも(要事前申込)
【参加費】無料 *要観覧券
【協力】視覚に障害のある人とつくるアートプロジェクト実行委員会



10



6



アーティスト・トーク「In Our Time」

- 1—2025年12月20日(土)
藤本由紀夫×竹村京×毛利窓子
「日常、偶然性、胎さ」
- 2—2026年1月12日(月・祝)
青山悟×手塚愛子×志村信裕
「産業、手仕事」
- 3—2026年1月24日(土)
森村泰昌×松井智恵×やなぎみわ
「寓話、労働、アイデンティティ」
- 4—2026年2月11日(水・祝)
石原友明×小谷元彦×西條茜
「身体性と知覚」
- 5—2026年2月28日(土)
笠原恵美子×風間サチコ×原田裕規
「歴史と社会への眼差し」

【時間】各回14:00~15:30
【会場】京都国立近代美術館 1階講堂
【定員】先着80名
*当日11:00より1階受付にて整理券を配布します
【参加費】無料 *要観覧券



11



12

【観覧料】一般:1500(1300)円、大学生:700(600)円

- *①内は前売と20名以上の団体および夜間割引料金(金曜18:00以降)
- *高校生以下・18歳未満、心身に障がいのある方と付添者1名、ひとり親家庭の世帯員の方は無料(要証明)
- *前売券は、10月20日(月)~12月19日(金)までオンラインチケット販売ページ(e-tix)よりお買い求めください
- *本料金でコレクション展もご覧いただけます

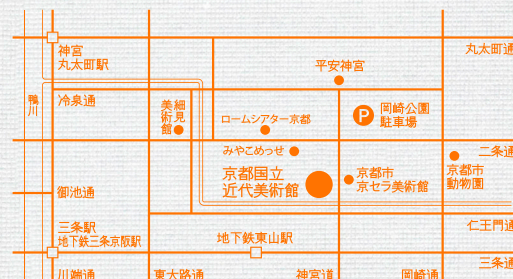


13



〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
【電話】075-761-4111 【ホームページ】www.momak.go.jp
関連イベントの詳細及び最新情報については、当館ホームページなどをご確認ください。

- ・京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分
- ・地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分
- ・当館には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
- ・岡崎公園駐車場をご利用の有料入場者は駐車券の割引(1台につき1回)が受けられます。ご来館の際、1階インフォメーションに駐車券をお持ちください。



- 1 笠原恵美子《Offering - Marina》2005年 | 作家蔵 ©Emiko Kasahara / Courtesy of the artist and Yoshiko Isshiki Office, Tokyo
- 2 西條茜《惑星》2024年 | 作家蔵 (撮影:来田匡) ©Akane Saijo
- 3 藤本由紀夫《SUGAR I》1995年 | 西宮市大谷記念美術館蔵 ©Yukio Fujimoto
- 4 風間サチコ《McColonial: 世界の山師》2003年 | 京都国立近代美術館蔵 (撮影:宮島達男) ©Sachiko Kazama
- 5 竹村京《修復された地球儀の貯金箱》2002~2021年 | 京都国立近代美術館蔵 (撮影:守屋友樹) ©Kei Takemura
- 6 石原友明《世界。》1996年 | 作家蔵 (西宮市大谷記念美術館での展示風景、2004年) ©Tomoaki Ishihara
- 7 志村信裕《Nostalgia, Amnesia》2019年 | 作家蔵 ©Nobuhiro Shimura
- 8 高嶺格《Baby Insa-dong》2003年 | 京都国立近代美術館蔵 ©Tadasu Takamine
- 9 森村泰昌《星男(平安神宮にて)》1990/2004年 | 京都国立近代美術館蔵 ©Yasumasa Morimura / Courtesy of the artist and Yoshiko Isshiki Office, Tokyo
- 10 小谷元彦《Phantom-Limb》1997年 | 作家蔵 (撮影:木奥恵三) ©Motohiko Odani
- 11 松井智恵《LABOUR-4》1993年 | 国立国際美術館蔵 (ギャラリーKURANUKIでの展示風景、撮影:石原友明) ©Chie Matsui
- 12 手塚愛子《閉じたり開いたり そして勇氣について (勤れ)》2024年 | 京都国立近代美術館蔵 (撮影:守屋友樹) ©Aiko Tezuka
- 13 田中功起《10年間》2025年 | 作家蔵 (プロダクション・スタイル) ©Koki Tanaka